

学校紹介
新聞

茨城県立 竜ヶ崎南高等学校



- ◆校長 須藤一道
- ◆生徒数 220人
- ◆創立 1982年
- ◆住所 龍ヶ崎市北方町120

創立40周年を記念した式典



がんばっています！

生徒と先生の距離近く



竜ヶ崎南高校は今年創立42年目を迎えました。本校の特徴は、各学年2～3クラスの小規模校であり、先生方と生徒の距離が近いことです。学習面では、教科によって一つのクラスを少人数に分けて先生方が丁寧に教えてくれます。私は、中学校では理解できなかった内容が、高校に入って理解できるようになったことが多くあり、勉強も前向きに取り組めるようになりました。

学校行事では、クラスマッチや文化祭、進路に関する講演会やガイダンス、私たちの身を守る交通安全やスマートフォン教室など、幅広く行っています。特にクラスマッチでは、担任の先生とおそろいのクラスTシャツを作成し、一緒に競技に出場し、クラス一丸となり応援に取り組むことができ、大きな達成感を感じました。先生方と生徒の間に壁がなく一人一人をしっかりと見てくれる学校だと思います。(3年 高橋愛)



こんな学校です！



製造業の企業担当(きょうたん)者から説明を受ける生徒(補教(いなしき)市内(右)、建設現場(けんせつじょうば)でV字を取る生徒(取手(とりで)市内(左)、ガスタンクに登り、点検(てんけん)作業を体験(たいけん)する市内(右)、下級生にインターンシップについてプレゼン(左))

全2年生参加 就業体験

竜ヶ崎南高校では2年生の時に生徒全員が参加するインターンシップ(就業体験)があります。学年の約半数が進路希望として就職を選んでいるため、インターンシップは実際に働くことを学べる貴重な体験であり、卒業後の進路先を考える良い機会になります。

私は日清化成株式会社でインターンシップを体験しました。カップ麺の容器という身近にある物がどのような

工程で製造されているかを知ることができました。さらに社員の方から仕事について話を聞き、細部にわたり技術やデザインにこだわりがあることを知り、ものづくりに対する興味が強くなりました。

3年生になり、就職先を考えた時にはインターンシップでお世話になった日清化成株式会社を第1希望にしました。インターンシップの経験は就職試験にとっても役立ち、無事に内定につなげることができました。(3年 川原井煌星)



し、竹を切る生徒たち(龍ヶ崎市内)

地域との交流

喜び、感動 ボランティア



竜ヶ崎南高校では、生徒会役員と生徒会幹事を中心にさまざまなボランティア活動に取り組んでいます。今年是最寄りバス停までの通学路の定期的なごみ拾いや、市役所や警察署、地域の方々と協力の上、学校近くの交差点で交通安全運動を行いました。交通安全運動では信号待ちの車に声をかけ、安全運転をお願いしました。校外でも龍ヶ崎市や取手市を中心にイベントの準備やお手伝い、災害募金運動などを行いました。龍ヶ崎市の竹灯籠アートボランティアでは、灯籠にする竹をたくさん切りました。本番で竹の中に火をともし、多くの観客の感嘆する姿に大きな喜びと感動がわいてきたことは、貴重な経験となりました。最初は緊張や不安でいっぱいでしたが、多くの人の喜ぶ姿や感謝の一言で「やってよかった」「またやりたい」と思うようになり、今後も続けていきたいです。(3年 倉持愛菜)

クラブ活動/部活動



団体(だんたい)練習を行う弓道部員

努力積み重ね目標実現



私は1年の部活動紹介で弓を引く先輩の姿にあこがれて弓道部に入りました。1年の秋の新人戦で初めて公式戦に出場し、練習した成果が出て、的に当てることができ、すこうれしかったです。一方で、継続する大変さを知るきっかけにもなりました。毎日休まず誰よりも一生懸命練習しても、結果が出ない時には心が折れそうになりましたが、顧問の先生が「誰よりも努力しているから結果も出てほしいね」の一言に、自分の努力を見てくれている人がいると実感でき、苦しくても続けられ、最後の茨城県総体で3位に入賞することができました。

部活動で学んだことは目標実現のために自分ができていることでできていないことを整理すること、そして、毎日積み重ねる一步一步が大切ということです。今後の人生にも大切にしたい経験です。(3年 阿部広誠)

次回は12月4日 茨城県立鬼怒商業高校です

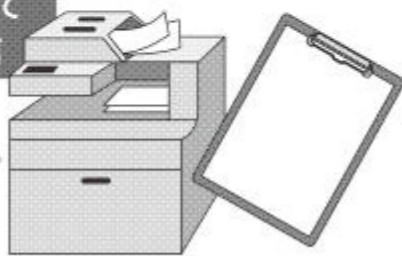
日ごろの新聞活用に問題はありませんか？ 記事や写真は著作物です。

著作権法で保護されています。
ご使用には事前申請が必要です。

新聞紙面をコピーまたはスキャンして
職場での回覧や配布、メール送信

新聞紙面を写真撮影して
インターネットに転載

新聞記事や写真を営業資料やチラシ、
パンフレットなどに使用



新聞の著作権について

学校の授業など教育目的の利用について

ご使用の場合は事前申請をお願いします(原則有料)。 お問い合わせ 茨城新聞社編集部 ☎029-239-3020

新聞著作権協議会
https://www.ccn.jp/

日本新聞協会
https://www.pressnet.or.jp/

NIE 教育に新聞を
「学校における新聞の二次利用」
https://nie.jp/teacher/copyright/